YAMAHA
RT57i

# 問題を特定しましょう

## 現在起こっている問題は何ですか？

考えられる問題点は以下の項目に分類できます。
あてはまる問題をクリックして、対策方法を確認してください。

- ▶ ISDN回線を使った電話 / FAX / モデムが使えなくなった
- ▶「かんたん設定ページ」で設定できない
- ▶ インターネットに接続できない
- ▶ VoIP通話できない
- ▶ その他の問題（サポート窓口のご案内）

YAMAHA
RT57i

# ISDN回線を使った電話 / FAX / モデムが使えなくなった

本機の設定を変更してからISDN回線を使った電話／ FAX ／モデムが使えなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

ISDN回線を利用していない場合は、電話やFAX、モデムなどを本機に接続してもISDN回線を使った通話には使用できません。

### 1 POWERランプは点灯していますか？

▶ 点灯していない

### 2 ISDNランプは点灯しますか？

▶ 点灯していない

### 3 問題に合わせて、必要な情報をご覧ください。

▶ 電話がかけられない

▶ 電話が着信しない

▶ FAXやモデムが使えない

▶ ダイヤルイン着信しない

▶ ナンバー･ディスプレイが使えない

▶ 擬似着信転送が使えない

▶ 外線と内線の三者通話、擬似三者通話が使えない

▶ カスケード接続されたISDN回線が使えない

▶ INSボイスワープが使えない

▶ INSボイスワープの設定を変更できない

▶ INSキャッチホンが使えない

▲一覧に戻る

# 「かんたん設定ページ」で設定できない

本機の設定を変更してから「かんたん設定ページ」で設定できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

## 1 POWERランプは点灯していますか？

▶ 点灯していない

## 2 LANランプは点灯していますか？

▶ 点灯していない

## 3 問題に合わせて、必要な情報をご覧ください。

▶「かんたん設定ページ」を表示できない

▶ パスワードを入力しても「かんたん設定ページ」が表示されない

▶ 設定内容が元に戻ってしまう

▶「かんたん設定ページ」を開く際に、Webブラウザにパスワードを保存できない

▶ パスワードを忘れてしまった

YAMAHA
RT57i

# インターネットに接続できない

本機の設定を変更してからインターネットに接続できなくなった場合は、
直前に行った設定に問題がある場合があります。

### 1 POWERランプは点灯していますか？

▶点灯していない

### 2 LANランプは点灯していますか？

▶点灯していない

### 3 ISDNランプ（ISDN回線接続時）、または WANランプ（ブロードバンド回線接続時）は点灯していますか？

▶点灯していない（ISDN）

▶点灯していない（WAN）

### 4 問題に合わせて、必要な情報をご覧ください。

▶ダイヤルアップで接続できない

▶フレッツ・ISDNで接続できない

▶フレッツ・ADSLやBフレッツで接続できない

▶ホームページが表示されない／表示が遅い

▶128kbit/s（MP接続）で接続できない

# VoIP通話できない

本機の設定を変更してからVoIP通話ができなくなった場合は、
直前に行った設定に問題がある場合があります。

1 POWERランプは点灯していますか？

▶点灯していない

2 LANランプは点灯していますか？

▶点灯していない

3 WANランプは点灯していますか？

▶点灯していない

4 問題に合わせて、必要な情報をご覧ください。

▶電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう

▶電話番号をダイヤルしても、何も音がしない（30秒ほど経過すると、話中音となる）

▶VoIP通話が着信しない

▶VoIP通話で雑音が多い

▶電話番号をダイヤルしている途中で発信してしまう

▲一覧に戻る

# その他の問題

# 1-1　ランプがひとつも点灯しない

## 電源コネクタに、付属のACアダプタが接続されていない

- 本機の電源コネクタに、付属のACアダプタ(P9V1.1A)のコネクタを正しく接続する。

## 付属のACアダプタがコンセントに接続されていない

- コンセントから外れているときは、正しく差し込み直す。

## 付属のACアダプタを使っていない

- 本機に付属のACアダプタ(P9V1.1A)を使用する。

## 主ブレーカーや配線別ブレーカーが切れている

- ブレーカーが「切」になっている場合は、「入」にする。
- ブレーカーが「入」になっている場合は、1度「切」にしてから「入」にし直す。

## 停電している

- 停電中は、復旧するまでお待ちください。
- コンセントに電気が来ていない(他の電気製品も使えない)。
- 他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼してください。
- 他の製品が動くときは、本機の修理を依頼してください。

▲一覧に戻る

# 1-2　ISDNランプが点灯しない

## ISDN回線の契約内容と接続方法が合っていない

▶ ISDN Uポートに接続している場合は、本機の電源を切り、DSUスイッチまたはTERM(ターミネータ)スイッチが「OFF」になっている場合は両方とも「ON」にしてから電源を入れ直す。
すでにDSUスイッチとTERMスイッチが「ON」になっている場合は、RVS/NOR(極性反転)スイッチを逆に切り替えてから電源を入れ直す。

▶ ISDN S/Tポートに接続している場合は、本機の電源を切り、DSUスイッチを「OFF」、TERM(ターミネータ)スイッチを「OFF」にしてから、電源を入れ直す。

▶ DSUや、内蔵DSUを使用しているISDN機器の電源が入っているか確認する。

## ISDN回線に接続していない

▶ 本機をアナログ回線のモジュラージャックではなく、ISDN回線のモジュラージャックに接続する。

## 本機が誤動作している

▶ 説明にしたがって本機を工場出荷状態に戻してから(活用マニュアル86ページ)、本機の設定をはじめからやり直す。

▶ それでもISDNランプが点灯しない場合は、本機の修理を依頼してください。

▲一覧に戻る

# 1-3　LANランプが点灯しない

## HUBやパソコンの電源が入っていない

▶ 本機および本機に接続した機器の電源が入っていることを確認する。LANポートに機器を正しく接続しても、接続した機器の電源が入っていないときは、本機のLANランプは点灯しない。

## 正しく接続されていない

▶ 本機側、パソコンおよびHUB側の双方のコネクタをいったん外してから、もう1度カチッとロックするまで差し込む。

## LAN用のケーブルを使っていない

▶ ISDNケーブルを使用していないかどうか確認する（コネクタ形状が全く同じなので注意が必要）。

▶ 他のLANケーブルと取り替えてみる。

## パソコンのLAN（ネットワーク）カードが正しく動作していない、または接続モードが本機と合っていない

▶ パソコンのLANボード（カード）が正しくインストールされ、正しく動作していることを確認する。

▶ パソコンのLANボード（カード）と本機の通信速度および接続（二重）モードが合っているか確認する。

▲一覧に戻る

# 1-4　WANランプが点灯しない

## ADSLモデムやケーブルモデムの電源が入っていない

▶ 電源を入れる。

## ADSLモデムやケーブルモデムと正しく接続されていない

▶ 本機のWANポートおよびADSLモデムやケーブルモデムの配線をいったん外してから、もう1度カチッと音がするまで差し込む。

## 正しいケーブルを使用していない

▶ ADSLモデムやケーブルモデムとパソコンを接続するものと、同じタイプのケーブルで接続する。

▲一覧に戻る

# 2-1　電話がかけられない

## アナログ機器の電源が入っていない

▶ アナログ機器（電話機やFAX、モデムなど）に電源が必要な場合に、電源コードやACアダプタが抜けていないか、電源スイッチが「入」になっているかどうかを確認する。

## アナログ機器が正しく接続されていない

▶ モジュラーケーブルをいったん外して、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。
▶ 他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。

## TELポートに実際に接続した機器と「かんたん設定ページ」のTELポートの設定内容が合っていない

▶ TELポートごとに設定した通りに、アナログ機器を接続し直す。
▶ 「かんたん設定ページ」を開き、電話の設定内容を確認する（活用マニュアル14ページ）。

## 同時に2つの機器を使用している

▶ インターネット接続と電話機を同時に使用している場合は、ISDNの2チャネルとも使用中になるため、それ以上電話をかけられない。アナログ機器は2つ接続できるが、同時に使えるのは、ルータの接続を含めて2通話まで。

## 擬似着信転送または擬似通信中転送で2チャネル分を使っている

▶ 受話器を上げて「プップー、プップー」という音が聞こえるときは、フッキングして強制切断する。

## αACRやsuperACRなどのACR(自動電話会社接続機能)を利用している

▶ ダイヤルの桁間隔時間(秒)(機能番号41)を9秒以上に設定する(活用マニュアル19ページ)。

# 2-2 電話が着信しない

## アナログ機器の電源が入っていない

▶ アナログ機器(電話機やFAX、モデムなど)に電源が必要な場合に、電源コードやACアダプタが抜けていないか、電源スイッチが「入」になっているかどうかを確認する。

## アナログ機器が正しく接続されていない(相手は呼出音)

▶ モジュラーケーブルをいったん外して、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。
▶ 他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。

## 何も接続していないTELポートがある(相手は呼出音)

▶ 機器を接続していないTELポートは、電話機能設定の「TELポート使用制限の設定(機能番号14)」を「使用しない」に設定する(活用マニュアル19ページ)。

## 同時に2つの機器を使用している(相手はビジー音)

▶ インターネット接続と電話機を同時に使用している場合は、ISDNの2チャネルとも使用中になるため、それ以上電話を受けられない。アナログ機器は2つ接続できるが、同時に使えるのは、ルータの接続を含めて2通話まで。

## 同じ回線に他のISDN機器が接続されている(相手は呼出音)

▶ 他のISDN機器が応答していないか確認する。

## 着信転送が設定されている(相手は別の電話機につながる)

▶ 着信転送を解除する。着信転送が設定されていると、着信が転送されます(活用マニュアル65ページ)。

## 使用している電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない

▶ 電話機がナンバー・ディスプレイ非対応の場合は、電話機能設定の「ナンバー・ディスプレイ機能(機能番号39)」を「使用しない」に設定する(活用マニュアル69ページ)。

▶ 電話機がナンバー・ディスプレイ対応の場合は、電話機能設定の「ナンバー・ディスプレイ機能(機能番号39)」を「使用する」に設定する(活用マニュアル69ページ)。

# 2-3　FAXやモデムが使えない

## 通話音量が大きすぎる／小さすぎる

▶ 通話音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると、通信ができないことがある。「かんたん設定ページ」や電話機から電話機能設定の「送信PADの音量設定（機能番号61）」「受話PADの音量設定（機能番号62）」で値を変更する。

## アースコードが接続されていない

▶ アースコードが正しく接続されていないと、通信にノイズが入り、つながりにくくなることがある。必ず、アースコードで本機のアース端子とコンセントのアース（接地）端子を接続する。

# 2-4　ダイヤルイン着信しない

## 回線番号ごとに電話番号、ダイヤルインの設定が正しく行われていない

▶「電話の設定」－「ISDN電話の設定」－「TEL1(TEL2)ポートの設定」－「基本設定」画面で、正しく設定する(活用マニュアル73ページ)。

# 2-5　ナンバー・ディスプレイが使えない

## ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっている

▶「電話が着信しない」を参照して、正しく設定する。

## 使用している電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない

▶「電話が着信しない」を参照して、正しく設定する。

# 2-6　擬似着信転送が使えない

## 擬似着信転送を使えるように設定をしていない

▶ 擬似着信転送をするための設定を行う（活用マニュアル64ページ）。

## 擬似着信転送するTELポートを誤って指定している

▶ TELポートごとに異なる転送先アドレスを設定する場合は、それぞれのポートを指定して着信させるようにi･ナンバーやダイヤルイン番号を設定する（活用マニュアル72～73ページ）。

# 2-7 外線と内線の三者通話、擬似三者通話が使えない

## もう1つのTELポートで外線と内線の三者通話あるいは擬似三者通話している

- 本機で接続できる外線と内線の三者通話あるいは擬似三者通話は合わせて1接続のみ。
- もう1つのTELポートの三者通話が終了してから、外線と内線の三者通話あるいは擬似三者通話を行う。

# 2-8 カスケード接続されたISDN回線が使えない

## カスケード接続機能と外線と内線の切り替え通話や三者通話、あるいは擬似の切り替え通話や三者通話を併用している

▶ 外線と内線の切り替え通話や三者通話、あるいは擬似の切り替え通話や三者通話を終了する。

# 2-9 INSボイスワープが使えない

「あなたがおかけになった電話番号は、現在ご利用いただけません」とアナウンスが流れる

## INSボイスワープを契約していない

▶ ご利用の電話会社へINSボイスワープを申し込む（有料）。詳しくは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

## 発信者番号を通知していない

▶ ダイヤルイン、i・ナンバー、代表取扱サービスなどを契約した回線でINSボイスワープの設定を変更するには、INSボイスワープを契約した電話番号を交換機に通知する必要がある。
「電話の設定」－「ISDN電話の設定」－「TEL1（TEL2）ポートの設定」－「基本設定」画面で電話番号を正しく入力して、回線番号を通知するように設定する（活用マニュアル66ページ）。

## INSボイスワープを使えるように設定をしていない

▶ 電話局側のINSボイスワープの設定を開始（使用する）にする。詳しくは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

## INSボイスワープを契約した電話番号とは異なる電話番号を、発信者番号として通知している

▶ 「電話の設定」－「ISDN電話の設定」－「TEL1（TEL2）ポートの設定」－「基本設定」画面で電話番号を正しく入力して、回線番号を通知するように設定する（活用マニュアル66ページ）。

▶ TELポートごとに異なる電話番号を割り当てている場合は、INSボイスワープを契約した電話番号を割り当てているTELポートに接続した電話機から、必要な操作を行う。

# 2-10 INSボイスワープの設定を変更できない

「142」をダイヤルしても、設定が変更できない

## アナログ回線用のボイスワープと同じ操作を行っている

- ISDN回線用のボイスワープの操作は、アナログ回線用の操作と異なる。NTTの資料を参照して、正しい操作を行う。
- ISDN回線の場合はアナログ回線と異なり、「142」をダイヤル後に音声ガイダンスを待たずに続けてダイヤルする。
  転送サービスを開始する場合の例:「14211」と続けてダイヤルする。

## INSボイプワープサービスで利用可能な番号

- 転送サービスを停止する場合
  「1420」
- 転送サービスを開始する場合
  「14211」…無条件転送
  「14212」…無応答時転送
  「14213」…話中時転送
  「14214」…無応答時および話中時転送
- 転送サービスの開始／停止の確認をする場合
  「1428」
- サービス設定を行う場合
  「1422」、「1423」、「1424」
- リモートコントロールで設定する場合
  「1427」

▲一覧に戻る

# 2-11 INSキャッチホンが使えない

## INSキャッチホンを契約していない

▶ ご利用の電話会社へINSキャッチホンを申し込む（有料）。詳しくは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

## 話中の着信通知が「しない」に設定されている

▶「電話の設定」－「ISDN電話の設定」－「TEL1（TEL2）ポートの設定」－「着信機能設定」画面で、話中の着信通知を「する」に設定する（活用マニュアル56ページ）。

## INSキャッチホンが使用「しない」に設定されている

▶ 「電話の設定」－「ISDN電話の設定」－「フレックスホンの共通設定」画面で、「INSキャッチホン」を使用「する」に設定する（活用マニュアル56ページ）。

# 3-1 「かんたん設定ページ」を表示できない

## 本機がパソコンを認識していない（LANランプが点灯していない）

▶「1-3 LANランプが点灯しない」の説明に従って、問題を解決する。

## パソコンのネットワーク設定が不適切（LAN上の他のパソコンやネットワークプリンタも使用できない）

▶ LANボードやLANカードの設定をやり直して、パソコンを再起動する。

▶ Windowsの場合は、IPアドレスをリセットする（活用マニュアル133ページ）。

▶ Macintoshの場合は、「TCP/IP」コントロールパネルの[経由先]を[Ethernet]、[設定方法]を[DHCPサーバを参照]に設定してから、設定を保存する。

## 本機が誤動作している

▶ 本機を初期状態に戻してから、設定をやり直す（活用マニュアル86ページ）。

## 本機のIPアドレスを変更した

▶ 本機に設定したIPアドレス「http://（本機のIPアドレス）/」にアクセスする。

▶ 本機とLANに接続しているすべてのパソコンを再起動する。再起動または電源を切ることができないときは、パソコンを1台だけ本機に接続し、それ以外のLANケーブルを取り外してから、本機とパソコンの電源を入れる。

▶ パソコンの設定が同じIPアドレス範囲になっているか、他の機器とIPアドレスが重なっていないか確認する。

## 本機のURLが不適切である

▶ 本機を初めて使うときや工場出荷状態に戻した後は、「http://192.168.100.1/」または「http://setup.netvolante.jp/」にアクセスする。

## パソコンのWebブラウザの接続経路設定が、LAN経由になっていない

▶ Windows版InternetExplorer6の場合、[インターネットオプション]の[接続]タブでダイヤルアップ接続をする設定になっていると、「かんたん設定ページ」にアクセスできないので、[ダイヤルしない]に変更する。

## パソコンのWebブラウザでProxy(プロキシ)サーバを使用している

▶ プロキシの設定が正しくないと、「かんたん設定ページ」が表示できなくなる。

▶ **Windows版InternetExplorer6の場合**

メニューから[ツール]→[インターネットオプション]→[接続]タブ→[LANの設定]を開き、[プロキシサーバーを使用する]のチェックをはずす。

## パソコンをWebブラウザ経由で遠隔操作している

▶ IPアドレスによるアクセス制限機能が働いていると、許可されていないホストからのアクセスに対しては、「Error503　This server is available to members only. I'm sorry, your host is not member.」と表示される。遠隔操作する場合は、「HTTPの利用を許可するホスト」の設定を変更する(活用マニュアル83ページ)。

# 3-2 パスワードを入力しても「かんたん設定ページ」が表示されない

## パスワードが間違っている
（パスワードエラーが表示される）

▶ パスワードは、全角／半角や大文字／小文字の違いも区別される。必ず半角の英数字で大文字／小文字まで正確に入力する。

▶ Webブラウザに認証情報（ユーザ名、パスワード）が残っていると、それを自動的に送信するため、エラーになる場合がある。ユーザ名を削除してからパスワードを入力し直すか、ブラウザをいったん終了してから「かんたん設定ページ」を開き直す。

## ログインパスワードではかんたん設定ページにアクセスできない

▶ パスワードを設定している場合は、管理パスワードを入力する。

# 3-3　設定内容が元に戻ってしまう

## 設定後に［設定の確定］をクリックしていない

▶「かんたん設定ページ」で設定を変更したときは、必ず［設定の確定］をクリックして設定を保存する。［設定の確定］をクリックせずに［トップへ戻る］をクリックしたり画面を閉じたりすると、設定内容は保存されない。

# 3-4 「かんたん設定ページ」を開く際に、Webブラウザにパスワードを保存できない

## 「ネットワークパスワードの入力」画面で、ユーザ名を空欄にしている

▶ Webブラウザによっては、パスワードを保存するためにユーザ名の入力が必要な場合がある。この場合は、任意の文字列を入力する。

▲一覧に戻る

# 4-1 ダイヤルアップで接続できない

## 本機がISDN回線を認識していない
（ISDNランプが点灯していない）

▶「1-2 ISDNランプが点灯しない」の説明に従って、問題を解決する。

## 本機に接続できない
（パソコンから「かんたん設定ページ」を開けない）

▶ パソコンを再起動する。
▶ Windowsの場合は、IPアドレスをリセットしてから、もう1度接続してみる。
「3-1「かんたん設定ページ」を表示できない」の説明に従って、問題を解決する。

## 自動接続先のプロバイダ情報が登録されていない

▶「かんたん設定ページ」で接続するプロバイダの情報を設定する。
▶「かんたん設定ページ」で自動接続設定を「入」にしてから、接続するプロバイダを選ぶ。

## 同時に2つの機器を使用している
（ISDN回線接続時のみ）

▶ アナログ機器で2チャネル分を使っている場合は、インターネットへ接続できない。アナログ機器の回線使用状態を確認する。

## 累積料金が接続制限値を超えている

▶ プロバイダ累積料金や累積接続時間、累積発信回数が接続制限値に達していると、プロバイダに接続できなくなる。
意図しない接続や異常課金がないことを確認してから、「かんたん設定ページ」でプロバイダの累積料金をリセットすると、接続できるようになる(活用マニュアル106ページ)。

## プロバイダの電話番号が間違っている

**(「かんたん設定ページ」のトップページに、「接続できませんでした。電話番号を確認してください」と表示される)**

▶ 番号違いやアナログ専用アクセスポイントの電話番号の場合は、接続できない。プロバイダの接続情報書類を確認し、「プロバイダの登録／修正」画面で正しいプロバイダの通信速度とISDN対応電話番号を入力し直す。

## ユーザー IDまたはパスワードが間違っている

**（「かんたん設定ページ」のトップページに、「IDまたはパスワードの認証に失敗しました」と表示される）**

▶ プロバイダの接続情報書類を確認して、正しいユーザIDとパスワードを入力し直す。

▶ Windowsで専用線接続の場合は、ゲートウェイ情報に本機のアドレスが設定されているか確認する。

▶ Macintoshの場合は、TCP/IPの経由先が正しく設定されているか確認する。

▶ プロバイダの認証サーバが混雑していると、接続に失敗することがある。しばらく時間をおいてから、アクセスし直す。

## アクセスポイントが混雑している

**（「かんたん設定ページ」のトップページに、「相手が話中です」と表示される）**

▶ プロバイダのアクセスポイントが混雑している。しばらく時間をおいてから、かけ直す。

▶ プロバイダのアクセスポイントのISDN対応電話番号を、もう1度確認する。

▶ 他のアクセスポイントがある場合は、別の番号を設定してみる。

# 4-2　フレッツ･ISDNで接続できない

## 本機がISDN回線を認識していない（ISDNランプが点灯していない）

▶「1-2 ISDNランプが点灯しない」の説明に従って、問題を解決する。

## フレッツ･ISDN契約していない

▶ フレッツ･ISDN契約しているかどうかを確認する。

## 電話番号が間違っている

▶ NTTから指定された、フレッツ･ISDN専用の電話番号「1492」を指定する。

## 本機にISDN番号を登録していない

▶ フレッツ･ISDN契約した電話番号を本機に登録しないと、接続できない。設定マニュアルの60ページからの操作をやり直して、正しく設定する。

## ユーザIDまたはパスワードが間違っている

▶ プロバイダから指定されたユーザIDに加えて、プロバイダ名まで指定する必要がある（例:username@xxx.ne.jp）。

▶ フレッツ･ISDNとプロバイダの設定資料を参照して、正しく入力する。

# 4-3　フレッツ・ADSLやBフレッツで接続できない

## 本機がブロードバンド回線を認識していない（WANランプが点灯していない）

▶「1-4 WANランプが点灯しない」の説明に従って、問題を解決する。

## ユーザIDまたはパスワードが間違っている

▶ プロバイダから指定されたユーザIDに加えて、プロバイダ名まで指定する必要がある（例：username@xxx.ne.jp）。

▶ フレッツ・ADSLとプロバイダの設定資料を参照して、正しく入力する。

# 4-4　ホームページが表示されない／表示が遅い

## プロバイダ設定のDNSサーバアドレスが間違っている

▶ プロバイダ接続設定にDNSサーバアドレスが設定されているか確認する。

▶ 各パソコンのDNSサーバアドレス設定に本機のIPアドレスを入力してから、パソコンを再起動する。

▶ WebサーバやDNSサーバが混雑または停止している可能性がある。しばらく時間をおいてから、アクセスし直す。

## 本機のフィルタが動作している

▶ プロバイダから与えられたIPアドレスがプライベートアドレスで、ファイアウォールなどのセキュリティフィルタを適用している場合は、セキュリティレベルを2か4、または6に変更する（活用マニュアル78ページ）。

▶ プロバイダから与えられたIPアドレスと本機に設定したIPアドレスが重複している。
「かんたん設定ページ」の「LANの設定」画面で、本機のIPアドレスをプロバイダから与えられたものと重複しないアドレスに変更する（活用マニュアル84ページ）。
この場合、本機のファイアウォール機能は再適用する必要がある。

## 回線の種類に問題がある（PPPoE方式ADSL接続時のみ）

▶ ADSL回線の種類によっては、標準的な設定のままでは、一部のホームページのデータが受信できないか、データの受信が非常に遅くなることがある。
いったん接続を切断してから、「かんたん設定ページ」の「詳細設定と情報」ー「基本接続の詳細な設定」ー「プロバイダの登録／修正」画面でMTUに1454などの値を設定して、接続し直す。

## プロバイダから与えられたIPアドレスと本機に設定したIPアドレスが重複している

▶「かんたん設定ページ」の「LANの設定」画面で、本機のIPアドレスをプロバイダから与えられたものと重複しないアドレスに変更する(活用マニュアル84ページ)。
この場合、本機のファイアウォール機能は再適用する必要がある。

## 回線やプロバイダ、Webサーバが混雑している

▶ 時間帯などによっては、非常に遅くなる場合がある。回線速度に比べて非常に遅い状態が続く場合は、ご利用の回線業者やプロバイダにお問い合わせください。

# 4-5　128kbit/s（MP接続）で接続できない

## プロバイダとMP接続の契約をしていない

▶ MP接続するには、プロバイダが対応している必要がある。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。

▶ プロバイダにより、別途MP接続契約が必要な場合がある。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。

**ご注意**

MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。2チャネル目が発信とエラーを繰り返し、多額の料金を請求される場合があります。

## MP対応の電話番号以外にダイヤルしている

▶ MP接続対応の電話番号（アクセスポイント）にかけないと、接続できない。プロバイダの接続情報書類を確認し、MP接続対応の電話番号に設定し直す。

## 端末型プロバイダ接続の設定で、MPを使用する設定になっていない

▶「かんたん設定ページ」の「プロバイダの登録／修正」画面で「MPを使用する」を選ぶ（活用マニュアル107ページ）。

## 「MP関連」の設定で「通信の負荷に応じてチャネル数を増減させる」を選んでいる

▶「通信の負荷に応じてチャネル数を増減させる」を選んでいる場合、通常は1チャネルのみ接続される。データ通信量が多くなると、自動的に2チャネル接続される。

# 5-1 電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう

## VoIP通話が利用できない設定になっている

▶「電話の設定」–「VoIPの設定」–「VoIPの基本設定」画面で、「VoIP機能」を「使用する」に設定する。

▶「電話の設定」–「VoIPの設定」–「VoIPの基本設定」画面で、対応するTELポートの「VoIP機能」を「使用する」に設定する。

## 必要な識別番号(プレフィックス)をダイヤルしていない

▶ 設定したプレフィックスをダイヤルしてから、NetVolanteインターネット電話番号をダイヤルする。

▶「電話の設定」–「VoIPの設定」–「VoIPの基本設定」画面で、プレフィックスの番号を適切な番号に変更する。

## ネットボランチ電話番号の場合、ダイヤルした番号が間違っている

▶ 相手の正しいネットボランチ電話番号をダイヤルする。

## ネットボランチ電話番号の場合、相手がネットワークに繋がっていない

▶ 相手がネットワークに繋がっていることを確認してから電話する。

## 電話番号がインターネット電話帳に登録されていない

▶ 登録されている電話番号をダイヤルする。
▶ 新たに電話番号を登録する。

## インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている

▶ インターネット電話帳に正しいアドレスで登録し直す。

## 相手が着信を拒否している

▶ インターネット電話帳に登録されている内容のユーザ名の設定が正しいか確認し、修正する。

# 5-2　電話番号をダイヤルしても、何も音がしない

（30秒ほど経過すると、話中音となる）

## インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている

▶ 正しいアドレスで登録し直す。

## 相手がネットワークに接続していない

▶ 相手がネットワークに繋がっていることを確認してから電話する。

▲一覧に戻る

# 5-3　VoIP通話が着信しない

## VoIP通話が利用できない設定になっている

▶「電話の設定」–「VoIPの設定」–「VoIPの基本設定」画面で、「VoIP機能」を「使用する」に設定する。

▶「電話の設定」–「VoIPの設定」–「VoIPの基本設定」画面で、対応するTELポートの「VoIP機能」を「使用する」に設定する。

## インターネット電話着信時の宛先ユーザ名が、着信できないユーザ名になっている

▶「電話の設定」–「VoIPの設定」–「VoIPの基本設定」画面で、対応するTELポートの「着信許可」を「すべて許可」に設定する。

▶ 通信相手に自分が設定しているユーザ名を知らせ、そのユーザ名宛に発信してもらうようにする。

# 5-4　VoIP通話で雑音が多い

## 他に帯域を大幅に使用する通信（ストリーミング配信など）を行っている

▶ 通信を終了してから、VoIP通話で電話をかける。
▶「電話の設定」–「VoIPの設定」–「VoIPの基本設定」画面で、「QoS」を「VoIPを優先する／送信帯域を制限する」に設定する。
▶ 他の通信で使用する帯域がアプリケーションで設定可能であれば、使用する帯域を少なくする。

## 相手との間に帯域の狭い経路が存在する

▶ 複数のサービスと契約している場合は、サービスを変えてみる。
▶ 時間帯を変えて、通話をためす。

▲一覧に戻る

# 5-5　電話番号をダイヤルしている途中で発信してしまう

## 先にダイヤル途中で発信してしまった番号が、今ダイヤルしている番号の最初に含まれている

**（その番号までを入力した時点で発信してしまう ）**

▶ 即時発信しないように analog rapid call コマンドで設定を変更する。詳しくはコマンドリファレンスをご覧ください。

# 6-1 本機やパソコンで、NTPサーバを使った時刻合わせができない

## NTPサーバのIPアドレスやドメイン名が間違っている

▶ 入手したNTPサーバ情報と比較し、正しく設定されていることを確認する。

▶ NTPサーバに対してpingを実行し、NTPサーバが稼動していることを確認する。

## 登録されているNTPサーバへの経路が設定されていない

▶ プロバイダ設定や経路設定を確認する。

## 本機のセキュリティフィルタが動作している

1 「かんたん設定ページ」の「IPv4ファイアウォールの設定」画面で、「静的フィルタの一覧」の下部に表示されているNTPポート(ポート番号123)を通す(Pass)フィルタ(36／37番)の[入]と[出]の両方にチェックを付ける。

2 セキュリティレベルを6または7にする(活用マニュアル78ページ)。

▲一覧に戻る

# 6-2　ネットボランチDNSサービスでホストアドレスを取得できない

## プロバイダによっては、登録／更新してすぐに名前解決ができない場合がある

▶ しばらく時間をおいてから、再度試してみる。

## ネットワーク型プロバイダ接続で接続している

▶ ネットワーク型プロバイダ接続で接続している場合は、ネットボランチDNSサービスは利用できない。IPアドレスを直接指定して接続する。

## プロバイダからプライベートIPアドレスが割り当てられている

▶ 本機にグローバルIPが割り当てられていない環境では、ネットボランチDNSサービスは利用できない。

▲一覧に戻る

# 6-3 PPTPを利用したリモートアクセスやLAN間接続ができない

## プロバイダからプライベートIPアドレスが割り当てられている

▶ 本機にグローバルIPが割り当てられていない環境では、PPTP関連の機能は利用できない。

# 6-4　カスケード接続機能で通話できない

## 接続されていない機器が、接続されているような設定になっている

▶ アナログ親機側と子機側のルータをそれぞれ正しい設定に変更する（活用マニュアル36～37ページ）。

# 通信料金に異常がある

## 料金情報や通信記録を見て使った覚えのない通信料金があった場合は

自動接続機能でインターネットへ接続している場合は、パソコンのソフトウェアや機器が自動的にインターネットへ接続している疑いがあります。また、ソフトウェアによっては、パソコンを起動しているだけで自動的に動作するものがあり、知らないうちに自動発信を繰り返している場合があります。放置すると、多額の通話料金になる場合がありますので、こまめに料金や通話記録を確認してください。

▶通信料金の問題について詳しくは、別紙をご覧ください→[クリック]

次のような場合は、特にご注意ください

- ▶ 本機を使い始めた時
- ▶ 本機のプロバイダ接続設定を変更した時
- ▶ パソコンのダイヤルアップネットワーク設定を変更した時
- ▶ MP接続を設定した時
- ▶ Real Playerをインストールした時
- ▶ パソコンに新しいソフトウェアをインストールした時
- ▶ ネットワークに新しいパソコンやネットワーク機器、周辺機器などを接続した時
- ▶ 本機のファームウェアをリビジョンアップした時
- ▶ その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じた時など

# パスワードを忘れてしまった場合は

## 次の方法で再設定します

1 本体背面のRESETスイッチを押して離す。
2 本機の起動が完了するのを待つ。
3 本機背面のINITスイッチを10秒以上押し続ける。
▶ パスワードなしで「かんたん設定」画面にアクセスできるようになります。
4 10分以内に、新しいパスワードを登録する。
▶ 詳しくは「活用マニュアル」(別冊)の「本機へのアクセスを制限する」(82ページ)をご覧ください。

## ご注意

・INITスイッチを押す操作は、電源投入後1回しか行うことが出来ません。
・INITスイッチを押す操作は、password reenter コマンドにより無効にすることができます。詳しくはコマンドリファレンスをご覧ください。

YAMAHA
RT57i

# 最新情報の入手先は?

本機に関する最新情報は、インターネットのホームページで入手できます。
設定に関する初歩的な情報からルータの専門的な情報まで、
それぞれの目的別に用意していますので、十分ご活用ください。

## NetVolanteシリーズの ホームページ

▶ 本機やNetVolanteシリーズに関する最新情報をご覧いただけます。
http://NetVolante.jp/

## NetVolanteシリーズで お問い合わせの多い質問(FAQ)

▶ 本機やNetVolanteシリーズに関するQ&Aをご覧いただけます。ネットボランチのホームページ(http://NetVolante.jp/)から、必要な情報を入手してください。

## NetVolanteシリーズの リビジョンアップ情報

▶ 本機やNetVolanteシリーズの最新ファームウェアに関する情報をご覧いただけます。ネットボランチのホームページ(http://NetVolante.jp/)を表示してから、リビジョンアップ情報のページを表示してください。

## RTシリーズのホームページ

▶ RTシリーズのルータに関する最新情報やルータの技術情報、高度な利用方法などをご覧いただけます。
http://www.rtpro.yamaha.co.jp/

▲一覧に戻る

# サポート窓口のご案内

## お問い合わせの前に

### 本書をもう1度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できないかどうかご確認ください。本機に付属の設定マニュアルや活用マニュアルも、あわせてご覧ください。

### ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様のルータの状態を把握するために、弊社の担当者がログ(syslog)情報や設定(config)情報を確認させていただくことがあります。特に電子メールでお問い合わせの際は、ログ情報や設定情報を問題の症状とあわせてお知らせいただくことで、問題の解決が早まることがあります。

## ログ情報や設定情報を確認する

以下の方法でご確認ください。

1 パソコンでWebブラウザを起動して、ファイルメニューの[開く]を選ぶ。
▶「ファイルを開く」画面が表示されます。

2 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。
本機のIPアドレス(工場出荷状態では192.168.100.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。
▶トップ画面が表示されます。

3 [詳細設定と情報]をクリックする。
▶「詳細設定と情報」画面が表示されます。

4 ログ情報を確認したいときは「本機のログ(syslog)のレポート作成」、設定情報を確認したいときは「本機の全設定(config)のレポート作成」の[実行]をクリックする。
▶本機のログ表示または全設定情報が表示されます。

## お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、右記へご連絡ください

### ネットボランチコールセンター

- TEL　**03-5715-0350**
- NetVolanteインターネット電話番号
  TEL　**##62594341**
  （日・祝日、年末年始を除く9時〜12時、13時〜17時）

### 電子メールでのお問い合わせ

- Webお問い合わせページ：
  **http://NetVolante.jp/**
- メールアドレス：
  **support@netvolante.jp**

# 本機の保証サービスについて

本機や本機の付属品に不良があった場合は、すぐにご購入の販売店へご連絡ください。また、通常のご使用で故障が発生した場合は、保証期間中は無償にて修理いたします。ご購入の販売店またはネットボランチコールセンターへご連絡ください。また保証期間後は、有料にて修理いたします。
なお、保証期間中の修理には、保証書が必要です。ご購入時に「お買い上げ年月日」と「販売店名」の記入をご確認の上、保証書をお受け取りください。保証書がない場合は、保証期間内であっても有料となります。

**保証期間：ご購入から１年間**

# 切断コード一覧

**0 ………… 通信中または正常切断**

**1 ………… 欠番**

存在しない番号に発信した。相手先番号に間違いがある。

**2 ………… 指定中継網へのルートなし**

相手先番号への中継網が存在しないかサービスを提供していない。相手先番号に間違いがある。

**3 ………… 相手へのルートなし**

網が相手先番号へ着信を受け付けない。相手先番号に間違いがある。

**6 ………… チャネル利用不可**

選択したBチャネルが使用できない。すでに2つのBチャネルが使用されている可能性がある。

**16 ………… 正常切断**

**17 ………… 着ユーザビジー**

発信した相手がすでに他の端末と通信中で通信できない。相手が話中。

**18 ………… 着ユーザレスポンスなし**

発信したが規定時間内に何の反応も返ってこなかった。相手の電源が切れているか、相手先番号が間違っている可能性がある。

**19 ………… 着ユーザ呼出中／応答なし**

発信した相手から呼出(ALERT)による反応があったが、その後規定時間内に応答の反応がなかった。相手が電話を取れない状況にあるか、相手先番号が間違っている可能性がある。

**20 ………… 加入者不在**

移動局と無線交信を行なえない。相手の携帯電話などの電源が入っていないか圏外にいる。

**21 ………… 通信拒否**

何らかの理由で相手端末が着信を拒否した。ISDN関係のパラメータの不整合があるか、相手先番号が間違っている可能性がある。
また、相手側が着信可能な設定になっているか確認する。

# 切断コード一覧(つづき)

**22 ………… 相手加入者番号変更**

相手の番号が変更されている。相手先番号に間違いがある。

**26 ………… 選択されなかったユーザの切断復旧**

着信に対して応答したが、他の端末の方が早く応答しており、自端末の応答は選択されなかった。

**27 ………… 相手端末故障中**

相手端末の電源OFFや故障、回線抜けなどにより相手インタフェースの起動不可。通信中に電源をいきなり落した時など。

**28 ………… 無効番号フォーマット(不完全番号)**

相手先番号に間違いがある。

**30 ………… 状態問合せへの応答**

網からの状態問合せに対する応答を示す。

**31 ………… その他の正常クラス**

**34 ………… 利用可回線／チャネルなし**

利用可能な回線／Bチャネルがない。すでに2つのBチャネルが使用されている可能性がある。

**38 ………… 網故障**

網に比較的長時間続きそうな障害が発生した。しばらく使用を見合わせる必要がある。

**41 ………… 一時的失敗**

網に比較的長時間続きそうもない障害が発生した。再発信で接続できる可能性がある。

**42 ………… 交換機輻輳**

網に障害(交換機が高トラフィックで輻輳)が発生した。しばらく使用を見合わせる必要がある。

**43 ………… アクセス情報廃棄**

網が要求されたアクセス情報を相手に届けることができなかった。しばらく使用を見合わせる必要がある。

# 切断コード一覧(つづき)

**44 ………… 要求回線/チャネル利用不可**

要求した回線/Bチャネルが相手側のインタフェースで提供できない。すでに2つのBチャネルが使用されている可能性がある。

**47 ………… その他のリソース使用不可クラス**

**49 ………… QOS(サービス品質)利用不可**

要求されたQOS(Quality Of Service)が提供されない。(RT/RTAでは通常表示されない)

**50 ………… 要求ファシリティ未契約**

要求された付加サービスが提供されない。付加サービスに契約せずに、端末に付加サービスの設定がされている可能性がある。

**57 ………… 伝達能力不許可**

許可していない伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

**58 ………… 現在利用不可伝達能力**

利用不可である伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

**63 ………… その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス**

**65 ………… 未提供伝達能力指定**

サポートしていない伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

**66 ………… 未提供チャネル種別指定**

サポートしていないチャネル種別が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

**69 ………… 未提供ファシリティ要求**

提供していない付加サービスが要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

**70 ………… 制限デジタル情報伝達能力のみ可能**

非制限デジタルを要求されたが、制限デジタルのみサポートしている。(RT/RTAでは通常表示されない)

**79 ………… その他のサービスまたはオプションの未提供クラス**

# 切断コード一覧(つづき)

**81 ………… 無効呼番号使用**

使用中のものと異なる呼番号のメッセージを受信した。(RT/RTAでは通常表示されない)

**82 ………… 無効チャネル番号使用**

使用できないチャネル番号を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

**83 ………… 指定された中断呼識別番号未使用**

中断された呼と異なる呼番号で再開しようとした。(RT/RTAでは通常表示されない)

**84 ………… 中断呼識別番号使用中**

再開の可能性がある呼に対して中断を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

**85 ………… 中断呼なし**

再開の可能性のある呼以外の呼に対して再開を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

**86 ………… 指定中断呼切断復旧済**

すでに切断した呼に対して再開を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

**88 ………… 端末属性不一致**

端末属性が一致しない端末に発信した。またはそのような端末からの着信を受け取った。
相手先番号が間違っている可能性がある。例えば、自側が同期PPPで相手側がアナログモデムの場合のように、双方での端末属性の設定に不一致がある。

**91 ………… 無効中継網選択**

誤ったフォーマットの中継網識別を受信した相手先番号が間違っている可能性がある。

**95 ………… その他の無効メッセージクラス**

**96 ………… 必須情報要素不足**

必要な情報要素が不足していた。不正な相手からの着信を受け取った。(RT/RTAでは通常表示されない)

**97 ………… メッセージ種別未定義または未提供**

認識できないメッセージを受信した。不正な相手からの着信を受け取った。(RT/RTAでは通常表示されない)

# 切断コード一覧(つづき)

**98…………呼状態とメッセージ不一致又は、メッセージ種別未定義又は未提供**

網との間で状態の不一致が発生した。ルータを再起動する必要がある。

**99…………情報要素未定義**

未定義の情報要素を受信した。(RT/RTAでは通常表示されない)

**100………情報要素内容無効**

情報要素の内容に誤りがある。(RT/RTAでは通常表示されない)

**101………呼状態とメッセージ不一致**

網との間で状態の不一致が発生した。ルータを再起動する必要がある。

**102………タイマ満了による回復**

レイヤ3でのタイムアウトが発生した。

**111………その他の手順誤りクラス**

**127………その他のインタワーキングクラス**

**112………L2リンクの設定に失敗した**

モジュラーケーブルの接続などを確認する必要がある。

**545………相手が呼出中のまま応答せずにタイムアウトした**

相手先番号が間違っている可能性がある。

**548………コールバック手順に成功して相手からコールバックされるのを待っていたがタイムアウトした**

相手先番号が間違っている可能性がある。

**549………コールバック手順の中でタイムアウトした**

相手先番号が間違っている可能性がある。

**552………切断タイマ(isdn disconnect time)による切断**

正常切断。

# 切断コード一覧（つづき）

**553 ……… 出力切断タイマ（isdn disconnect output time）による切断**

正常切断。

**554 ……… 入力切断タイマ（isdn disconnect input time）による切断**

正常切断。

**555 ……… Fast Data 切断タイマ（isdn fast disconnect time）による切断**

正常切断。

**556 ……… 強制切断タイマ（isdn forced disconnect time）による切断**

正常切断。

**769 ……… コールバックの応答がなかった**

コールバック手順での問題。相手先番号が間違っている可能性がある。

**770 ……… コールバックの応答に失敗した**

コールバック手順での問題。相手先番号が間違っている可能性がある。

**772 ……… 回線コネクタ抜けにより発信失敗**

**774 ……… 再発信禁止条件により発信失敗**

しばらくしてから再発信すれば接続できる。

**780 ……… 累積課金による発信制限により発信失敗**

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積課金情報をクリアする。

**781 ……… 累積接続時間による発信制限により発信失敗**

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積接続時間情報をクリアする。

**782 ……… 累積発信回数による発信制限により発信失敗**

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積発信回数情報をクリアする。

# 切断コード一覧(つづき)

### 817 ········ PPTP制御手順エラー
トンネルが確立されていないのに発呼要求や着呼要求を受信した。トンネルを確立しているルータ間でそれぞれサーバ、クライアントの設定になっているか確認する。

### 818 ········ PPTP制御パケットのフォーマット誤り
接続相手が対応している機種か確認する。

### 819 ········ PPTP制御パケットの内容誤り
接続相手が対応している機種か確認する。

### 820 ········ PPTP内部リソース不足
RT/RTAでは通常表示されない。

### 821 ········ PPTP Call ID エラー
PPTP呼制御パケットの識別ID不一致。接続相手が対応している機種か確認する。

### 822 ········ PPTPサーバのその他のエラー
サーバ側(PAC)で起こったエラー。接続相手が対応している機種か確認する。

### 823 ········ PPTPクライアントのその他のエラー
クライアント側(PNS)で起こったエラー。接続相手が対応している機種か確認する。

### 824 ········ TCPレスポンス待ち
TCPのレスポンス待ち。接続相手先のホスト名またはIPアドレスを確認する。

### 825 ········ TCPレスポンス待ちタイムアウト
TCPのセッション要求に対する応答がない。接続相手先が正しいかどうか確認する。

### 826 ········ 相手応答なし
接続相手先からの応答がない。接続相手先が正しいかどうか確認する。

### 827 ········ トンネル切断タイマタイムアウト
PPTPトンネル中にデータパケットがない状態が続き、切断した。常時接続にしたい場合は、トンネル切断タイマをOFFにして、キープアライブをONにする。

# 切断コード一覧(つづき)

**828……キープアライブ失敗**
接続相手先からの応答がなく、検出回数を越えたので切断した。接続相手先の状態を確認する。

**848……PPPoE接続でサーバによりサービスを拒否された**
要求したサービスがサーバにより拒否された。(RT/RTAでは表示されない)

**849……PPPoE接続でサーバによりサービスを拒否された**
サーバが高トラフィックで輻輳している可能性がある。

**850……PPPoE接続で回復不能なエラーが発生した**
ログに表示された理由のエラーが発生した。

**851……PPPoE接続でPADIタイムアウト**
接続先にサーバが存在しない。または、サーバまでの区間の回線状態が良くない可能性がある。

**852……PPPoE接続でPADRタイムアウト**
サーバまでの区間の回線状態が良くない可能性がある。

**853……PPPoE同時接続数オーバー**
同時接続数を越えて接続しようとした。

**1025……PIAFS接続でネゴシエーション失敗**
相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

**1026……PIAFS接続でRTFが範囲を超えている**
相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

**1027……PIAFS接続でT001タイムアウト**
相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

# 切断コード一覧(つづき)

**1028 …… PIAFS接続でT002タイムアウト**

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

**1029 …… PIAFS接続でT003タイムアウト**

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

**1030 …… PIAFS接続でT101タイムアウト**

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

**1031 …… PIAFS接続でリンク解放受付K回送出済**

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

**1281 …… PPP手順においてLCPタイムアウト**

設定誤りの可能性がある。

**1282 …… PPP手順においてIPCPタイムアウト**

設定誤りの可能性がある。

**1285 …… PPP手順においてIPV6CPタイムアウト**

設定誤りの可能性がある。

**1296 …… コールバックによる接続が拒否された**

設定誤りの可能性がある。

**1297 …… 相手による認証が拒否された**

設定誤りの可能性がある。

**1298 …… 自分が認証を拒否した**

設定誤りの可能性がある。

**1299 …… 相手の認証に失敗した**

設定誤りの可能性がある。

## 切断コード一覧(つづき)

**1300 …… 相手に認証させるのに失敗した**
設定誤りの可能性がある。

**1301 …… 相手に認証させるのに失敗した回数が多すぎるため発信できない**
設定誤りの可能性がある。

**1302 …… 相手の認証でタイムアウトした**
設定誤りの可能性がある。

**1303 …… 相手に認証させるのにタイムアウトした**
設定誤りの可能性がある。

**1304 …… MPに失敗した回数が多すぎるため発信できない**
設定誤りの可能性がある。

**1305 …… LCPキープアライブによる発信に失敗した**
PPPoEサーバがダウンしているか、PPPoEサーバまでの回線のどこかに問題がある可能性がある。

**1306 …… 暗号化失敗による着信拒否**
MPPEのネゴシエーションで暗号化が成立せずに着信拒否した。相手先が暗号化ありの設定になっているか確認する。

**3001 …… 着ユーザ名前異常**
相手SIPアドレスのホスト名の名前解決に失敗した。相手SIPアドレスが間違っているか、DNSサーバが停止している可能性がある。

**3002 …… 経路なし**
相手とVoIP通話をするための経路がない。インターネットに接続されていない可能性がある。

**3003 …… 着ユーザなし**
相手SIPアドレスの宛先が存在しない。相手SIPアドレスの設定が間違っている可能性がある。

**3017 …… 着ユーザビジー**
発信した相手がすでに他の端末と通信中で通信できない。相手が通話中。

# 切断コード一覧(つづき)

**3018……着ユーザレスポンスなし**

発信したが規定時間内に何の反応も返ってこなかった。相手の電源が切れているか、相手SIPアドレスが間違っている可能性がある。

**3019……着ユーザ呼出中/応答なし**

発信した相手から呼出(180 Ringing)による反応があったが、その後、一定時間内(3分)に応答の反応がなかった。相手が電話を取れない状況にあるか、相手SIPアドレスが間違っている可能性がある。

**3021……着ユーザ拒否**

何らかの理由で相手端末が着信を拒否した。相手SIPアドレスが間違っている可能性がある。また、相手側が着信可能な設定になっているか確認する。

**3027……相手端末故障中**

相手端末の故障などにより相手インタフェースの起動不可。相手端末障害により相手端末で着信が出来ない状態になっている可能性がある。

**3028……設定間違い**

相手SIPアドレスが長すぎる。相手SIPアドレスの設定が間違っている可能性がある。

**3034……VoIP通話用利用可ポート無し**

VoIP通話に使用するポートが確保できなかった。すでにインターネット電話用の全てのポートが使用されている。

**3057……メディア不一致**

相手と通話するための方式が違う。相手が音声通話が出来ない製品の可能性がある。

**3101……機器エラー**

本機内部でエラーが発生した。本機がおかしな状態になっている可能性がある。

**3102……自分宛**

本機に発信しようとした。自分宛には発信できない。

**3200……その他のVoIP通話機能のエラー**

# 通信料金に異常がある

**料金情報や通信記録を見て使った覚えのない通話料金があった場合は**

自動接続機能でインターネットへ接続している場合は、パソコンのソフトウェアや機器が自動的にインターネットへ接続している疑いがあります。また、ソフトウェアによっては、パソコンを起動しているだけで自動的に動作するものがあり、知らないうちに自動発信を繰り返している場合があります。放置すると、多額の通話料金になる場合がありますので、こまめに料金や通話記録を確認してください。

**次のような場合は、特にご注意ください**

- 本機を使い始める時
- 本機のプロバイダ接続設定を変更する時
- パソコンのダイヤルアップネットワーク設定を変更する時
- MP接続を設定する時
- Real Playerをインストールする時
- パソコンに新しいソフトウェアをインストールする時
- ネットワークに新しいパソコンやネットワーク機器、周辺機器などを接続する時
- 本機のファームウェアをリビジョンアップする時
- その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じた時など

**ご注意**

- プロバイダ契約を解除または変更する時は、必ず本機の接続設定を削除または再設定してください。削除しないまま使っていると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。2チャネル目が発信とエラーを繰り返して多額の料金を請求される場合があります。
- プロバイダ側の状態(アクセスポイントの変更、メンテナンス、障害など)によって予想外の通信料金がかかる場合がありますので、プロバイダからの告知情報には常に注意してください。
- ここで使用している画面や設定項目は、各ソフトウェアのバージョンにより内容が異なります。

## 通信記録を確認する

### 「料金と通信の記録」画面で確認する

「かんたん設定ページ」－「詳細設定と情報」－「料金情報の表示」画面で、各ポート毎の累積料金や累積接続時間、累積発信回数、累積着信回数を確認できます。




| | 日付 | 時刻 | 通信種別 | 通信時間 | 料金 | 切断コード | 通信相手 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. | 2003/06/09 | 08:32:45 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:08 | | 通信中 | * |
| 2. | 2003/06/09 | 08:31:34 | TEL0/2:着信 | 00:00:12 | 0円 | 0 | 0000000000 |
| 3. | 2003/06/09 | 08:31:34 | TEL*:着信 | 00:00:00 | 0円 | 17 | 0000000000 |
| 4. | 2003/06/09 | 08:31:33 | TEL0/1:発信 | 00:00:12 | 9円 | 0 | 0000000000 |
| 5. | 2003/06/09 | 08:19:44 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:12:57 | 0円 | 0 | * |
| 6. | 2003/06/09 | 08:06:26 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:11:56 | 0円 | 0 | * |
| 7. | 2003/06/09 | 08:05:45 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:01 | 0円 | 1300 | * |
| 8. | 2003/06/09 | 08:05:42 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:02 | 0円 | 1300 | * |
| 9. | 2003/06/09 | 08:05:04 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:00 | 0円 | 1300 | * |
| 10. | 1980/03/19 | 03:51:31 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:01 | 0円 | 1300 | * |
| 11. | 1980/03/19 | 03:51:04 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:01 | 0円 | 1300 | * |
| 12. | 1980/03/19 | 03:50:48 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:00 | 0円 | 1300 | * |
| 13. | 1980/03/19 | 03:50:46 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:00 | 0円 | 1300 | * |
| 14. | 1980/03/19 | 03:50:45 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:01 | 0円 | 0 | * |
| 15. | 1980/03/19 | 03:50:44 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:00 | 0円 | 0 | * |
| 16. | 1980/03/19 | 03:50:42 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:00 | 0円 | 1300 | * |
| 17. | 1980/03/19 | 03:50:41 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:00 | 0円 | 1300 | * |
| 18. | 1980/03/19 | 03:50:40 | PP[01]:PPPoE:発信 | 00:00:00 | 0円 | 1300 | * |

プロバイダごとの累積料金や累積接続時間、累積発信回数、累積着信回数が表示されます。

**ご注意**

- 通信料金はISDN回線で接続している場合にのみ表示されます。
- 通信料金はNTTから通知される料金を累積して表示しています。NTTから通知される料金は少数点以下が切り上げられたり、各種割引サービスやNTT以外の回線業者の料金が反映されないことなどにより、実際に請求される料金と異なる場合があります。あくまで目安と考えてください。

# 通信料金に異常がある

## 「通信履歴のレポート作成」画面で確認する

「かんたん設定ページ」－「詳細設定と情報」－「通信履歴のレポート作成」画面で、各ポート毎の通信履歴を確認できます。




発着信日付、発着信時刻、通信種別、通信時間、通信料金、切断コード、相手先の番号が新しい順に100件まで表示されます。通信種別がPPxxとなっている通信が、プロバイダ(またはLAN間接続相手)へ接続した通信です。

**ご注意**

- 通信料金はISDN回線で接続している場合にのみ表示されます。
- 通信料金はNTTから通知される料金を累積して表示しています。NTTから通知される料金は少数点以下が切り上げられたり、各種割引サービスやNTT以外の回線業者の料金が反映されないことなどにより、実際に請求される料金と異なる場合があります。あくまで目安と考えてください。

## ログ情報で確認する

「かんたん設定ページ」－「詳細設定と情報」－「本機のログ(syslog)のレポート作成」画面で、自動接続のきっかけになったアクセスの情報を確認できます。

意図しないアクセスが多いときは、Syslog表示の中で一番下から順に「IP Commencing」の行を探します。IP Commencing行のパソコンIPアドレスやアクセス先ホストのIPアドレス、アクセス時間(もしくは間隔)などを手がかりに、どのソフトウェア(または機器)がアクセス要求を出しているかを調べて、原因を探してください。

**アクセス例1**

PP[01] IP Commencing: UDP 192.168.100.1:53 > 133.176.200.100:53
(DNS Query [windowsmedia.com] form 192.168.100.2)

この例では、LAN内のパソコン(192.168.100.2)からDNSサーバへインターネットのホスト(windowsmedia.com)のIPアドレスを調べる問い合わせ要求をきっかけに、プロバイダへの自動接続を開始しています。

**アクセス例2**

PP[01] IP Commencing：TCP 192.168.100.2:1311 ＞ 133.176.200.200:80

- PP[01]:プロバイダ番号
- 192.168.100.2:パソコンのIPアドレス
- 133.176.200.200:アクセス先のIPアドレス

この例では、LAN内のパソコン(192.168.100.2)からインターネットのホスト(133.176.200.200)へのアクセス要求をきっかけに、プロバイダへの自動接続を開始しています。

## 原因になりやすい設定を確認する

不審なインターネットアクセスの原因になる設定項目には、次のようなものがあります。OSを使い始めるときや、新しいソフトウェアをインストールしたときは、以下の例を参考にして設定をご確認ください。

### 頻繁に発信している場合は

パソコンのネットワーク設定のDNS設定値を確認してください。

インターネット上のDNSサーバのIPアドレスが指定されていると、頻繁にアクセスする場合があります。

### パソコンを起動するたびに発信している場合は

Windowsでアクティブデスクトップを使用している場合は、設定内容によって起動するたびにインターネットへ接続することがあります。また、パソコン起動時と同時に起動するソフトウェアがある場合は、[スタート]ボタンの[スタートアップ]項目を確認してください。スタートアップに登録されているソフトウェアの設定を確認し、自動アップデートなどの機能が有る場合は、設定を変更してください。

**コントロールパネルの[画面]設定**

WindowsのデスクトップにWebページを設定していると、パソコンを起動するたびにインターネットへ接続してWebページの内容を更新するため、パソコンを起動するごとに電話料金と通信料金がかかります。必要がなければ、設定を解除してください。

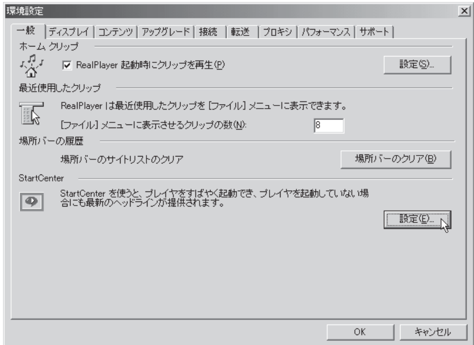


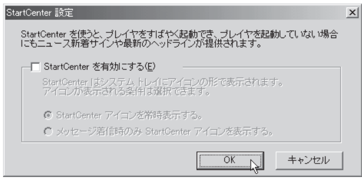

**RealPlayerの環境設定**

「環境設定」画面の[一般]タブにある[StartCenter]を有効にしていると、パソコンを起動するたびにインターネットへ接続して、[コンテンツ]タブで指定したチャンネルなどの最新情報が更新されます。

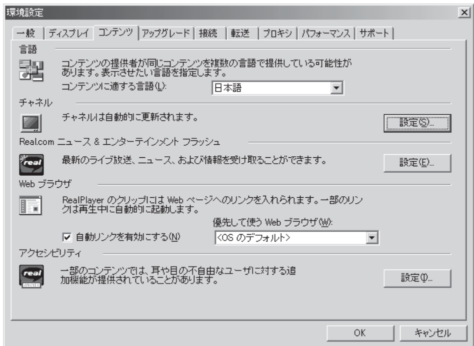
RealPlayerを起動しなくともこの動作は行われるため、パソコンを起動するごとに電話料金と通信料金がかかります。必要がなければ、設定を解除してください。

- [一般]タブ




- [コンテンツ]タブ



# 通信料金に異常がある

## 定期的に発信している場合は

- **1日に何回も発信している場合は：**Internet Explorerのチャンネルを購読している場合やWindows Updateを利用している場合、電子メールの自動送受信が設定されている場合などが考えられます。本機のLANに接続しているパソコンの、該当するソフトウェア設定を確認してください。
- **1日に数回以内の場合は：**ハードウェアのメンテナンスプログラムやNTPサーバ（インターネット自動時刻サーバ）の設定を確認してください。

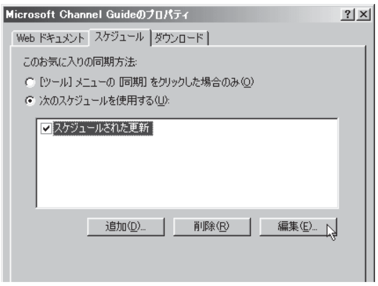
### ホームページのバナー広告

バナー広告が掲載されているホームページでは、何も操作しなくても定期的に自動更新する場合があります。そのページを開いたままWebブラウザを放置すると、定期的にインターネットへアクセスし続け、そのたびに料金がかかります。見終ったらWebブラウザを閉じることで、不要なアクセスを防ぐことができます。

### 購読チャンネルのプロパティ

Internet Explorerのチャンネルを購読している場合は、プロパティで指定した間隔で、チャンネル内容の更新のためインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。購読する場合は更新間隔をよく確認してお使いください。

不要な場合は、設定を解除してください。



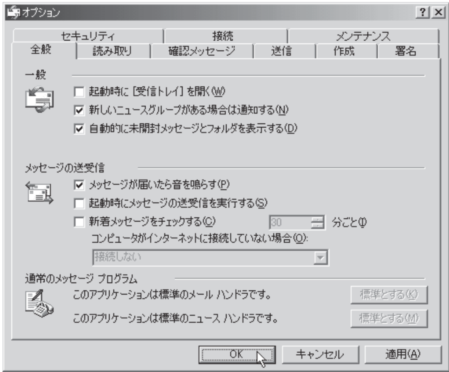




### Outlook Expressの［オプション］設定

Outlook Expressなどの電子メールソフトウェアには、新着メールを定期的に確認する機能があります。この機能を利用している場合は、定期的にインターネット上のメールサーバにアクセスするため、そのたびに料金がかかります。この機能を利用する場合は、確認する頻度を十分考慮してください。

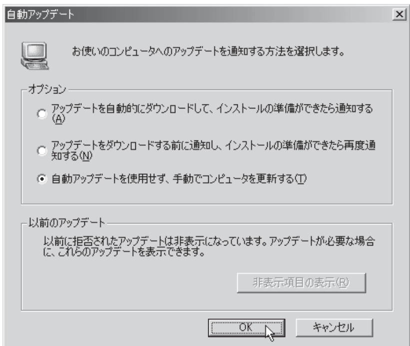
必要なければ設定を解除して、手動でメールを確認するようにしてください。




### OSの自動アップデート機能

Windows MeやMacOS 9以上の場合は、OSの自動アップデート機能があります。この機能を利用している場合は、定期的にインターネットのサーバにアクセスし、そのたびに料金がかかります。

不要であれば、［コントロールパネル］の［自動アップデート］（MacOS 9は［ソフトウェア・アップデート］）を開き、設定を手動更新に変更してください。



# 通信料金に異常がある

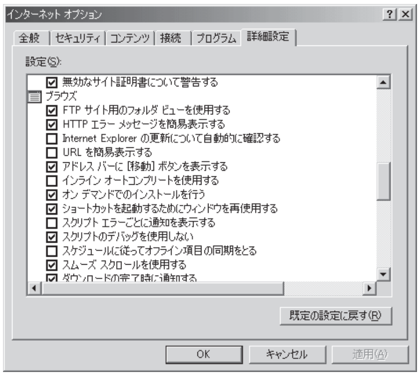
## ソフトウェアを起動するたびに発信している場合は

インストールしたソフトウェアの環境設定(初期設定)を確認して、自動アップデートなどの機能が有る場合は、設定を変更してください。

**Internet Explorerの[インターネットオプション]設定**

Internet Explorerの自動アップデート機能を利用している場合は、Internet Explorerを起動するたびにインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。

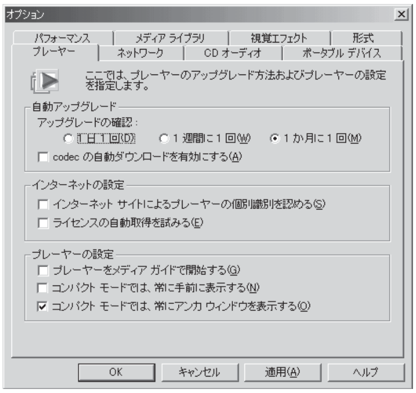
不要であれば設定を解除してください。




**Windows MediaPlayerの環境設定**

Windows MediaPlayerをインストールすると、MediaPlayerを開くたびにガイドページの情報を得るためにインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。

必要なければ、「オプション」画面の[プレーヤー]タブの[プレーヤーをメディアガイドで開始する]のチェックを外すと、アクセスを防げます。

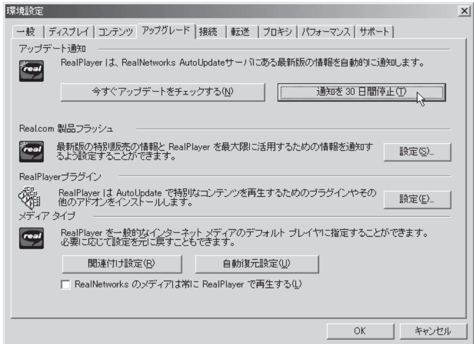



また、[プレーヤー]タブの[自動アップグレード]で[1か月に1回]を選ぶと、アクセス回数を減らすことができます(完全に解除することはできません)。

**RealPlayerの環境設定**

RealPlayerをインストールすると、アップグレード情報を得るためにRealPlayerを開くたびにインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。

必要なければ、[アップグレード]タブの[通知を30日間停止]をクリックすると、30日間はアクセスしなくなります。アクセスしない日数がカウントダウンされますので、ときどきチェックして[通知を30日間停止]をクリックしてください(完全に解除することはできません)。

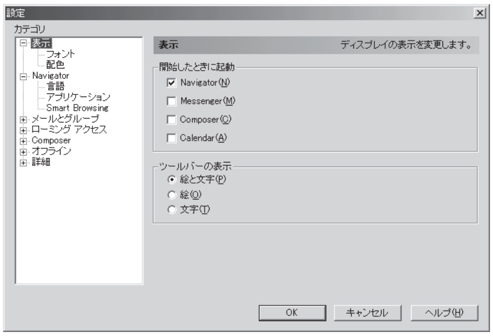



また、Real.com製品情報がチェックされていると、製品情報を得るためにRealPlayerを開くたびにインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。必要なければ設定を解除してください。

**Netscape Communicatorの設定**

Netscape Messengerの画面を開くときにNetscapeの広告ページを表示しようとしてインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。

Netscape Messenger以外の電子メールソフトウェアを使用する場合は、[開始したときに起動]の設定で、Messengerのチェックをはずしてください。




Netscape Messengerを使っている場合や、意図しない接続を止めたい場合は、[オフライン]の[起動モード]を[起動時に尋ねる]に設定し、オフラインで起動してください(自動的にオフラインで起動する設定はありません)。

